

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…
県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、
相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、
講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。
<http://pref.fukui.lg.jp/doc/danken/f-net.html>

23号は、第6期メンバーとなって初めてのREPORTです。
女性リーダーの育成を推進するため、福井県とお茶の水女子大学が共同で作成した「未来きらりプログラム」も2年目。
様々なことを経験し、更なる活躍を目指します。
今回のレポートは、4月に行われた合宿、5月に行われた「キャリアデザイン」講座、6月に行われた「コミュニケーション」
講座の様子をお届けいたします。



ふくい女性ネット 第6期スタート



平成25年4月19日(金)・20日(土)、ユー・アイふくい(福井県生活学習館)でふくい女性ネット第1回例会(合宿)を開催しました。

合宿 1日目

「未来きらりプログラム」2年目始動

2年目となった「未来きらりプログラム」は、新メンバーが加わり合宿1日目がスタート!

受講により得られたスキルを活かし、キャリアアップを目指すだけでなく、この機会に出会えたメンバーと親睦を深めながら活動していきます。

第6期 会長・副会長 決定

会長	川岸 道子さん	(福井貨物自動車株式会社)
副会長	高村 亜希子さん	(株式会社信越マグネット)
	武川 美香さん	(福井鉄螺株式会社)

* 第1回講義 「女性リーダー論」 *

講師は、日本女性学習財団の池田和嘉子さん。女性の活躍、女性リーダーの必要性について意見交換を交えながらの楽しい講義でした。

国際比較データから、日本の女性の立場が意外にも低いと知り驚きました。夫婦平等に家事と仕事を行う国もある中、日本は男性社会で、女性が家庭を守るイメージが根強いです。

しかし、女性の声や存在をアピールして、社会を変えていく事が重要で、中でも育児に関するバックアップがあれば、女性が十分に活躍できるとわかりました。

(担当 武川)



リーダーのイメージを膨らませました

合宿 2日目

* 自己紹介 *

2日目は、自己紹介と仕事内容についてのプレゼンテーションを行いました。スライドを使ったり、自社商品を見せたりと、個性溢れる発表からは、メンバーがそれぞれの職場で、自信と誇りを持って仕事に取り組む姿が伝わって来ました。

また、自分が経験したことのない仕事についての話を聴くことができ、お互いにとても良い刺激を受けました。これから1年間、このメンバーで活動出来ることに感謝し、決意を新たにしました2日間でした。

(担当 藤田)



工夫を凝らして自己紹介を行いました

ふくい女性ネット(第6期)参加企業 : ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

学校法人青池学園 若狭医療福祉専門学校
株式会社 GAIA
NPO 法人 男女平等推進協会えちぜん
日本商運株式会社
福井貨物自動車株式会社
福井県
学校法人福井仁愛学園
福井鉄螺株式会社
松文産業株式会社

アボットジャパン(株)勝山事業所
株式会社信越マグネット
永森建設株式会社
ネットヨタ福井株式会社
福井県国民健康保険団体連合会
(公財)福井県文化振興事業団
株式会社福井新聞社
株式会社 PLANT
(33社 50音順)

株式会社エイチアンドエフ
株式会社 SHINDO
日華化学株式会社
株式会社パケットデズ
福井県商工会連合会
福井県民生活協同組合
国立大学法人福井大学
株式会社ブリッジ

越前町
税理士法人 たすき会
新田塚コミュニティ株式会社
株式会社ヒューマン・デザイン
福井県赤十字血液センター
福井商工会議所
福井経編興業株式会社
北陸電力株式会社福井支店



お茶の水女子大学講義 「キャリアデザイン」



グループ内でディスカッション。“どれが正解というものではない”ことを共有しました

5月27日(月)、お茶の水女子大学 学生・キャリア支援センター 望月由起特任准教授より、「キャリアデザイン」について学びました。

- キャリアデザインの基本は、自分の価値観・強み & 弱みを把握し、生き方や働き方について考え、仕事・家庭・社会での生活をバランスよく設計する。
- 満ち足りたキャリアのために、興味と能力を活かし、自分が大切だと考える価値を得られる活動を行い、キャリアの長さ & 幅を満たすことが重要。
- キャリアを考える時は節目・転機を迎えた時であり、その転機によって役割・人間関係・生活・自身に対する見方に変化が起こる。

講義の途中でいくつかのワークシートを使い、過去・今・未来について考えました。人それぞれ譲れない・避けたい価値観が違い、1つの事象に対しても捉え方が違うということに気づきました。(担当:白川)



ビジネススキル講座 「チームコミュニケーション」



6月13日(木)、講師は、「分かりやすく、楽しい」講義で多くの“気づき”を教えてくださいました、(株)office・CanDo 代表取締役 宮永満祐美さんです。

主に活動1年目のメンバーを対象に、「チームワークゲーム」などを通して、コミュニケーションをとるうえでのポイントを学びました。

■ チームワークゲーム

会話、ボディランゲージは NG というルールでチームで作業を行い、メンバー全員の状況を確認し、相手が何を欲しているのかを考えながら進めました。

メンバー(職員)全員が「同じ目標」、「大きな視野」、「積極性、協調性」をもつことの重要性を感じることができました。

■ コミュニケーション力をつけるく基本、発信力、受信力

話す側が説明・報告の順番などに注意するだけでなく、聞く側も相手の話をさえぎらないことや、話の途中で勝手に解釈しないことなど注意点を再認識しました。(担当:塚崎)



講義での“気づき”をグループごとに発表しました



ビジネススキル講座 「リーダーとしてのコミュニケーション」



6月14日(金)、講師は、(株)office・CanDo 代表取締役 宮永満祐美さん。

主に活動2年目のメンバーを対象に、効果的に影響を及ぼし、相手を持っている答えを引き出すためのコミュニケーションを学びました。

■ コーチング・・・「相手が目指す姿と手段を自己決定するためのサポート」

指示や指導とは異なる手法で相手に気づきと行動を促すものです。2人一組で、傾聴方法や信頼関係が築けているかどうかを判断する指標となる表情や行動などを学びました。

つい直接的な指示をしてしまいがちですが、相手を信じて成長を待つことも大切であることがわかりました。

■ ファシリテーション・・・「集団のコミュニケーションを円滑にするための働きかけ」

打合せの場で、情報を整理しながら意見をまとめていく方法についてワークを行いました。応用編として、クレームへの対応や会議の議事進行など、職場で早速使いたいテクニックが盛りだくさんの内容でした。(担当:石丸)



お互いに改善点などの意見を交換しました

編集後記

ふくい女性ネット第6期がいよいよ始動。未来きらりプロジェクトも2年目を迎え、講義の受講や仮想プロジェクト、J-Win との共催フォーラムなどに取り組んでいきます。そして、何より、個性豊かなメンバーとの貴重な出会いを大切にしながら、1年後、それぞれの目指すリーダーに一歩でも近づけるように、全員で頑張っていきますので、温かく見守ってください！